ティファール スチームアイロン
ヴァーチュオ

目次

FV13* シリーズ

安全上のご注意

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。

 発火注意

 強制または指示

 分解禁止

 禁止行為

  感電注意

 電源プラグをコンセントから抜く

 接触禁止

⚠警告

電源は、一般家庭用100V、50-60Hzを使用してください。
間違った電圧への接続は、アイロンに損害を与える
可能性があり、保証は無効となります。

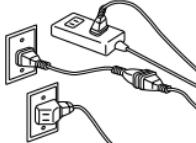
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に
熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。
ショートや発火する恐れがあります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は
行わないでください。
発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで
使用しないでください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。

濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の恐れがあります。

- **アイロンは、単独で使用してください。**
- **2口コンセントの場合は片方の差し込み口を空けたままで使用してください。**
- **延長コードを使用される際は、定格15Aのものに単独で使用してください。**

コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。

●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

●電源プラグのほこりなどは定期的に取ってください。
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れないようにしてください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。
また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。

熱いアイロンにコードを巻き付けないでください。
ショート・発火の原因になります。

万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しないでください。その際、本製品は分解しないでください。
危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。

本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。

ジェットスチームボタンを連続して速く押さないでください。
湯滴漏れによるやけどの原因になります。

本体のかけ面は大変高温になっているので、やけどする恐れがあります。決してそれらには触れないでください。
また、コードをアイロンかけ面に絶対に触れないようにしてください。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

給排水時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。

高温になる部分（かけ面など）に触れないでください。
やけどの原因になります。

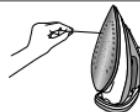
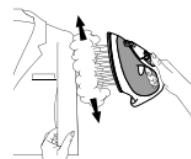
熱いスチームに触れないでください。やけどの原因になります。

本製品には、回収・リサイクルできる材料を使っています。
各地域のごみ収集所に出してください。

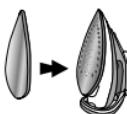
※この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのはおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任・保証を負いません。
※本製品は必ず屋内で使用してください。

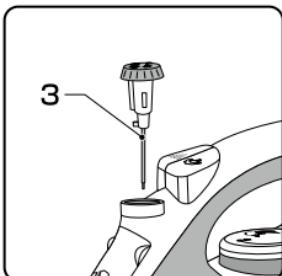
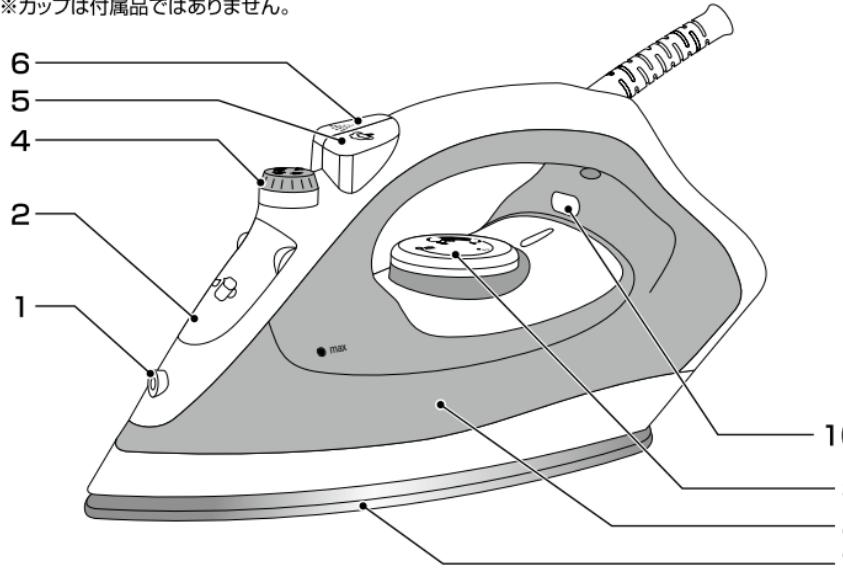
※自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴がやけどの原因になります。十分気をつけてください。

お願い

アイロン内部にピンや針金を入れないでください。
故障の原因になります。

コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してスチームをかけてください。皮革製品・絹などには使用しないでください。
衣類を傷める原因になります。

高級品や特殊加工品などには目立たない所にためしがけをしてください。

特にご注意 ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミヤなど

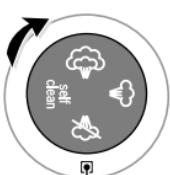
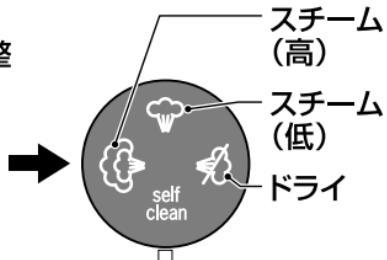
市販のかけ面アタッチメントを取りつけて使わないでください。
誤動作の原因になります。

各部の名前とはたらき

注水口

※カップは付属品ではありません。

1. ワンタッチスプレーノズル
2. 注水口カバー
3. 水あか防止バルブ
4. ドライ／スチーム切替ダイヤル
5. ジェットスチームボタン
6. ワンタッチスプレー（霧吹き）ボタン
7. かけ面
8. 水タンク
9. 温度設定ダイヤル
10. サーモスタットランプ

● 本体パネル表示

かけ面の温度を設定します。

※かけ面は熱くありませんが、「min」でも通電しているので、
使用時以外は電源プラグを抜いてください。

● ドライ／スチーム切替ダイヤル

スチーム量を調整します。

温度設定ダイヤルがドライゾーンの場合は、ジェットスチームボタンを押さずに、ドライで使用してください。
水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

※初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。その場合、ジェットスチームボタンを10～15回程押してください。

※ドライアイロンとして使用していても、温度設定が「max」であれば一度にたくさんのスチームを出すジェットスチーム（16ページ）が使用できます。

● 絵表示の見かたと温度の関係

衣類に表示されている取り扱い絵表示（一部参考例）

絵表示	アイロンのかけ方
高	**あて布をして高温でかけてください。** 〰線は指示温度であて布をするという意味です。
低	**低温でかけてください。**
✕	**アイロンかけはできません。**

※その他「スチーム禁止」などの表示があれば、
その表示に従ってください。

温度設定目安表

（表示されているかけ面の温度はドライアイロン使用時の温度）

繊維	温度設定ダイヤル表示	スチーム量表示	かけ面の温度*（目安）
麻	max	self clean □	
木綿	●●●	self clean □	
羊毛	●●		
絹	●	self clean □	
合成繊維 アクリル・ナイロン ポリエステル・アセテート など			

□ドライゾーン　□スチームゾーン

*あくまでも、かけ面の平均温度であり、状況により温度は異なります。

アイロンかけは順序よく

アイロンは熱くなりやすく冷めにくいので、アイロンかけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。
複数の繊維が混じっている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。また、熱に弱い繊維（合成繊維・絹・羊毛など）にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。
※アイロンかけの前に衣類を分けておけば能率的です。

注意

●念のために衣類の目立たないところでためしがけをすることをお勧めします。

ご使用の前に・・・

この取扱説明書をよくお読みください。
アイロンを加熱する前に、かけ面からラベル類を剥がします。

●初めてアイロンをご使用になる際、かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがすることがありますが、異常ではありません。
製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

●初めてアイロンをご使用になる際、ごくまれにスチーム孔から白い粉が出てくることがありますが、異常ではありません。
アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためですので、初期のご使用の際には10回ほどジェットスチームボタンを押してからご使用ください。気になる場合はセルフクリーニングも行ってください。(21ページ)
ジェットスチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

●スチームアイロンには、水道水をご使用ください。
軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、リネンウォーターなどを加えた水などはご使用にならないでください。アイロンのスチーム孔が詰まったり、布地のシミの原因となります。

●**初めてアイロンをご使用になる際、また長期間スチームをご使用にならなかった際、まれにスチームが出るまで時間がかかることがあります。**
その場合は、13ページの「スチームのご使用前に」を参照していただき、通常より多めに、ジェットスチームボタンを10～15回程押し続けると、スムーズに噴射されるようになり、それ以降は問題なくご使用いただけます。
ジェットスチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

●**のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。**
のりづけ(スプレーのりも含む)、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ(こげつき)だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。それらを使用した場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

●**温度設定は正確にしてください。**
9ページの「温度設定目安表」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。複数の繊維が混じっている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ(こげつき)や衣類を傷める原因になります。

● 水の入れ方

スチームやワンタッチスプレー（霧吹き）を使う場合は、
水タンクに水を入れます。

① 電源プラグがコンセントに接続していないことを
確認します。

② ドライ／スチーム切替ダイヤルを「」に合わせます。
※「」に合わせないと、ご使用中の水漏れ、
湯滴漏れの原因になることがあります。

③ アイロンを持ち上げます。

④ 注水口カバーを持ち上げます。

⑤ お手持ちのカップなどを使って、
水タンクのMAXマークまで水を入れます。
※水あか防止バルブがセットされている
ことを必ず確認してください。

※水はMAXより入れすぎないように注意してください。
水漏れの原因になります。

※電源プラグ、コード、本体に水がかからないように
ご注意ください。

※ジェットスチームボタンを押さないでください。
水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

⑥ 注水口カバーをしっかり閉めます。

注 意

- 本製品は、水道水を使用して動作するように設計されていますが、定期的にセルフクリーニング(21ページ「セルフクリーニング」を参照してください)を行ってください。
- 水漏れ、シミ、製品の早期摩耗の原因になることがあるので、衣類乾燥機の水、リネンウォーター、軟水、冷蔵庫・バッテリー・エアコンの水、雨水、煮沸/濾過された水、ミネラルウォーター、これらの水はご使用にならないでください。
- 注水時、ジェットスチームボタンを押さないでください。水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

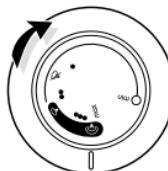
スチームのご使用前に

初めてスチームをご使用になるとき、また長期間スチームをご使用にならなかったときは、下記の手順でスチーム孔と内部に付着したほこりなどを排出させてください。

① 水タンクに水を入れます。
(12ページの「水の入れ方」を参照してください。)

② 電源プラグを持ってコードを100Vのコンセントに差し込みます。

③ 温度設定ダイヤルを「max」にセットします。

④ サーモスタットランプが消えたら、かけ面を下に浮かせて、2、3回ジェットスチームボタンを押してスチームを出してください。

※初めてご使用になるときは、スチームが出るまで多少時間がかかることがあります。その場合、ジェットスチームボタンを10～15回程度押してください。

※その際、湯滴が落ちることがありますので、ご注意ください。

※ランプが消えるまでは、ドライ／スチーム切替ダイヤルをドライ「」のままにしてください。水漏れの原因になります。

● スチームアイロンとして使うには

※温度設定ダイヤルをドライゾーンにセットしたときは、ドライ／スチーム切替ダイヤルを必ずドライ「」にセットしてください。セットしないと、湯滴漏れの原因になります。

※繊維に合わせてスチームをセットしてください。その際、9ページの「温度設定目安表」を参考に「温度設定ダイヤル」と「ドライ／スチーム切替ダイヤル」を適切にセットしてください。スチーム量を最大にするときは、温度設定ダイヤルを「max」に合わせてください。

※初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。

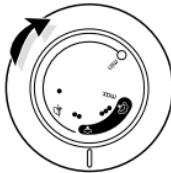
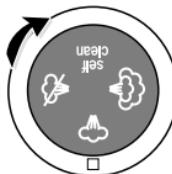
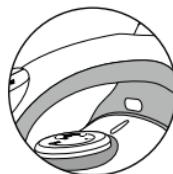
※使用中スチームや、万が一漏れた湯滴でやけどしないように、アイロン台下に体(足や太もも)がこないように注意してください。

※アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどする原因になります。十分気をつけてください。

※ドライ／スチーム切替ダイヤルを「」にセットすれば、ドライアイロンとしてもお使いいただけます。

① 水タンクに水を入れます。
（12ページの「水の入れ方」を参照してください。）

② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

③ 繊維の種類に合わせて、温度設定ダイヤルをスチームゾーン内でセットします。

④ サーモスタットランプが消えたら、ドライ／スチーム切替ダイヤルを9ページの「温度設定目安表」を参考にして、適切な位置にセットします。

注 意

●アイロンかけの途中で注水した場合は、かけ面の温度が下がっていますので、設定温度まで達してサーモスタットランプが消えてから、アイロンをかけてください。

● ジェットスチームを使うには

●一度にたくさんのスチームを出したいときは、
ジェットスチームボタンを押してください。
強力なスチームは、がんこなシワ取りに効果があります。

注 意

●温度設定ダイヤルをドライゾーン内にセットしたときは、
ジェットスチームを使用しないでください。
湯滴漏れの原因になることがあります。

●自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。
また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴で
やけどの原因になります。十分気をつけてください。

●温度設定ダイヤルをスチームゾーン内に
セットしたときに使えます。

●温度設定ダイヤルを「max」にセットしたときに
一番パワフルにスチームが出ます。

●連続使用するときは少なくとも4秒間
あけてください。湯滴漏れの原因になります。

※サーモスタットランプが点灯したら、
消えるまで待ってから使用してください。

ジェットスチーム
ボタン

● バーチカルスチームを使うには

衣類をハンガーにかけたままシワを取ったり、カーテンのシワを取りたいときに使います。

注 意

- 衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。
- スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーにかけてください。

お願い

- 熱に弱い繊維が焦げるのを防ぐためアイロンを衣類から数センチ離してください。

① 温度設定ダイヤルを「max」にセットします。

② 衣類をハンガーにかけて、布地のシワ取りをしたい部分を片手でピンと引っ張ります。

③ ジェットスチームボタンを繰り返し押しながら、アイロンを上から下に移動させます。

●連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。

※バーチカルスチーム量が減ってきたら、一度アイロンを水平にし、再度バーチカルスチームを使用してください。

※サーモスタットランプが点灯したら、消えるまで待ってから使用してください。

※水量が少ないと出にくくなります。

● ドライアイロンとして使うには

① ドライ／スチーム切替ダイヤルを「」にセットします。

② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

③ 繊維の種類に合わせて、
温度設定ダイヤルをセットします。
（9ページの「温度設定目安表」を
参照してください。）

④ サーモスタットランプが消えたら準備完了
です。

※ドライアイロンとして使用していても、水タンクに水が
入っていて温度設定がスチームゾーン内であれば、一度に
たくさんのスチームを出すジェットスチーム（16ページ）や
バーチカルスチーム（17ページ）が使用できます。

※ドライアイロンとしてのみご使用になる際は、
水タンクに水を入れなくても、ご使用になれます。

● ワンタッチスプレー（霧吹き）を使うには

注 意❗

●絹にはスプレーしないでください。布地を傷めることがあります。

ワンタッチスプレーボタンを押すと、
ワンタッチスプレーノズルから霧状に水が
出ます。スチームまたはドライで使用していても、
水タンクに水が入っていれば使えます。

ワンタッチ
スプレーボタン

※使い始めは出にくい事があります。
その場合、ワンタッチスプレーボタンを
10～15回程度押してください。

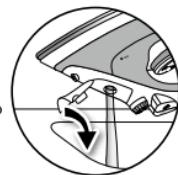
● 使い終わったら

お願い

●水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがありますので、必ず水タンクから水を捨てて保管してください。

① 温度設定ダイヤルを「min」にセットして、ドライ／スチーム切替ダイヤルを「」にセットします。

② アイロンの電源プラグを抜き、かけ面が冷めるのを待ちます。

③ アイロンのかけ面が冷めたら、流し台に持っていき、水タンクの水を捨てます。
※タンクの構造上、完全に水を抜くことはできませんが、少量の水の残留は、製品保管上問題ありません。

※コードの根元が過度に折れ曲がった状態でアイロンを保管しないようにしてください。

注 意

●ドライ／スチーム切替ダイヤルを「」にセットしていない、または、かけ面が冷める前に水を抜こうとすると、湯滴漏れの原因になりますのでご注意ください。

●サーモスタットランプが消えている事を確認してから電源プラグを抜いてください。

●アイロンは冷めてから、立てた状態で保管してください。

お手入れ方法

注 意

●水道水でじかにアイロンを洗わないでください。

お願い

●アイロンの電源プラグを抜いて冷めるのを待って、
お手入れしてください。

●研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

● 本体

やわらかい布で拭いてください。
がんこな汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。

● かけ面

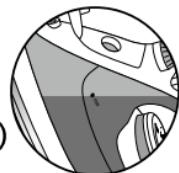
汚れが付いたときはすぐに取ってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなり布地を汚す恐れがあります。
また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。がんこな汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけ面を下にして1時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

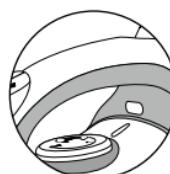
● セルフクリーニング

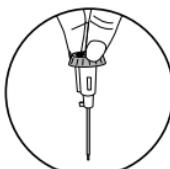
アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、セルフクリーニングを行ってください。（使用する水質や、使用頻度にもよりますが、1ヶ月に1回の目安で行ってください。）スチーム孔の目詰まり防止に効果的です。

① ドライ／スチーム切替ダイヤルを「」にセットします。

② お手持ちのカップなどを使って、水タンクのMAXマークまで水を注ぎます。
（12ページの「水の入れ方」を参照してください。）

③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

④ 温度設定ダイヤルを「max」にセットします。

⑤ アイロンを立てた状態で、サーモスタットランプが消えるまで待ちます。

⑥ アイロンの電源プラグを抜いて、流し台などの上で水平に持ち、ドライ／スチーム切替ダイヤルを「self clean」にセットして、バルブを引き抜きます。

※このとき、水あか防止バルブ本体は手で持たないようにしてください。

⑦ この状態で、アイロンを水平にし前後に振りながら、かけ面からお湯まじりの蒸気と汚れを排出させます。

※十分に汚れをとりたい場合は、もう1度繰り返します。

注 意❗

●アイロン本体とかけ面の間から熱い蒸気やお湯が出ることがあります。十分にご注意ください。

⑧ 終わりましたら、水あか防止バルブを元の位置にセットします。

※引き抜いた位置に水あか防止バルブを差し込み、時計方向に回し「(スチームマーク)」に合わせます。

※①から⑧の手順1回で水タンクの水はなくなりません。必要であれば、③からの手順を繰り返してください。

お願い

●水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの後は、忘れずセットしてください。

⑨ かけ面が冷めてから、やわらかい布でアイロンを拭きます。

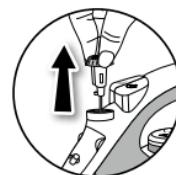
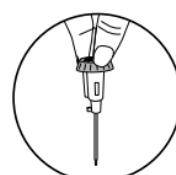
● 水あか防止バルブのクリーニング

水あか防止バルブを数ヶ月に1回の割合で掃除することで、
いつも安定した最大限のスチーム効果が得られます。

① 温度設定ダイヤルを「min」に設定します。

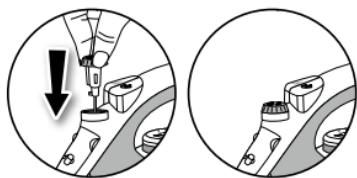
② ドライ／スチーム切替ダイヤルを
「」にセットします。

③ 電源プラグをコンセントから抜き、
かけ面が冷めるのを待ちます。

④ 水タンクを空にします。

⑤ 水を捨てたら、水あか防止バルブをドライ／スチーム切替
ダイヤルを「self clean」にセットして、
バルブを引き抜きます。

※このとき、水あか防止バルブ本体は手で
持たないようにしてください。

⑥ バルブの先端を3〜5倍に薄めた
酢またはレモン汁に4時間程度浸します。

⑦ バルブ先端部分を水道水ですすぎ洗いします。

⑧ 終わりましたら、水あか防止バルブを元の位置にセットします。
※引き抜いた位置に水あか防止バルブを差し込み、
時計方向に回し「」に合わせます。
※①から⑧の手順1回で水タンクの水はなくなりません。
必要であれば、③からの手順を繰り返してください。

お願い

● 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、
アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、
湯滴漏れなどの原因になります。
お手入れの後は、忘れずセットしてください。

故障かなと思ったら

考えられる原因	対処方法
状況 アイロンが熱くならない	
●温度設定ダイヤルの位置が正しくない。	●温度設定ダイヤルの位置を目的の繊維の位置に合わせてください。
●きちんと電源プラグが入っていない。	●電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
状況 スチームが出ない、または十分ではない	
●初めての使用。	●初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。（11ページ）
●ドライ／スチーム切替ダイヤルが「　」にセットされている。	●ドライ／スチーム切替ダイヤルをスチーム（低～高）にセットしてください。（8ページ）
●温度設定がスチームゾーンになっていない。	●温度設定ダイヤルをスチームゾーンにセットしてください。（7ページ）
●水タンクが空である。	●水タンクに水を入れてください。
●スチーム孔がつまっている、または長時間ドライのみで使用した。	●水あか防止バルブを洗浄し、セルフクリーニングを行ってください。（21ページ）
●水あか防止バルブが汚れている。	●水あか防止バルブをクリーニング（23ページ）してください。
●アイロンに水あかがたまっている。	●水あか防止バルブをクリーニングし（23ページ）、セルフクリーニング（21ページ）を行ってください。
●水を入れずにドライのみを長時間使用した。	●セルフクリーニング（21ページ）を行ってください。

考えられる原因	対処方法
状況　水タンクに水を入れ終わったらかけ面からスチームが出た	
●ドライ／スチーム切替ダイヤルが「」に合っていない。	●注水時は必ずドライ／スチーム切替ダイヤルを「」にセットしてください。
●水あか防止バルブがきちんとセットされていない。	●水あか防止バルブをきちんとセットしてください。
状況　水が漏れる	
●ジェットスチームボタンの使用回数が多すぎる。	●ジェットスチームボタンを連続使用する場合、少なくとも4秒間あけてください。
●温度設定ダイヤルがドライゾーンにあるのに、スチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用した。	●スチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用するときは、温度設定ダイヤルをスチームゾーンに合わせてください。
●設定温度になる前にスチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用した。	●サーモスタットランプが消えてからスチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用してください。
●ドライ／スチーム切替ダイヤルをドライにせず保管･注水した。	●ドライ／スチーム切替ダイヤルをドライにして、保管･注水してください。
●アイロンを伏せて保管した。	●ドライにしていても残った水がかけ面から漏れる可能性がありますので、立てて保管してください。
●水タンクに水を入れすぎた。	●水量は多くてもMAXマークまでにしてください。
●水タンクを空にせず保管した。	●アイロンかけ後は、19ページを参考にして、必ず水タンクを空にしてから、立てた状態で保管してください。
●注水口のふたをしっかり閉めていない。	●注水口のふたはしっかり閉めてください。

考えられる原因	対処方法
状況　白い粉がかけ面の孔からでる	
●セラミックの粉（10ページ）か、水道水のミネラル分（カルキ等）がたまり、排出された。	●セルフクリーニングと水あか防止バルブクリーニングを行ってください。（21～24ページ） ●はじめてのご使用の際、白い粉が出る場合があります。（10ページ）
状況　スチーム孔から茶色の液体が漏れて布地にシミができる	
●化学物質が含まれている水あか除去剤を使用した。	●水タンク内の水に水あか除去剤を入れないでください。
●不適切な水を使用した。	●セルフクリーニング（21ページ）を行い、12ページを参照して水道水を入れてください。
●繊維が、スチーム孔にたまって焦げてしまう。	●セルフクリーニング（21ページ）を行い湿らせたスポンジでかけ面をきれいにしてください。定期的にスチーム孔をクリーニングしてください。
●スチーム孔、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついてしまっている。	●ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。 改善せず修理をご希望の場合は、販売店又は、修理センターにご連絡ください。
状況　かけ面が汚れるあるいは茶色くなり、布地にシミができる	
●設定温度が高すぎた。	●かけ面の汚れを取り除いてください。 ●9ページの「温度設定目安表」を参照してください。
●布地に洗剤やのりが残っている。	●のりを使用する場合は、あて布をしてください。（11ページ） ●かけ面の汚れを取り除いてください。

考えられる原因	対処方法
状況　かけ面にキズがついたまたは破損した	
●アイロンを立てずに金属製または凹凸のある台の上に放置、またはジッパーの上に使用した。	●アイロンは常に立てた状態で保管してください。ジッパー上の使用は避けてください。 ●かけ面の交換や修理が必要な場合は、修理センターにご連絡ください。
●研磨剤や金属パッドでかけ面を清掃した。	
状況　かけ面からゴミが出る	
●水あかがかけ面についている。	●セルフクリーニング(21ページ)を行ってください。
状況　ワンタッチスプレーが出ない	
●水タンクに十分な水が入っていない。	●水タンクに水を入れてください。 ●最初はスプレーが出にくいことがあります。10～20回ボタンを押してください。

愛情点検

長年ご使用のアイロンの点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 使用中に電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- かけ面や取っ手が異常に熱い。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。
- その他の異常・故障がある。

▼

ご使用中止

このような症状が見られるときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて必ず修理センター、又は販売店で点検・修理をご相談ください。

●仕 様

製品名		ヴァーチュオ
電　源		100V　50-60Hz
定格消費電力		1200W
温度ヒューズ		390℃
本体サイズ	幅	約 11.0 cm
	長さ	約 26.0 cm
	高さ	約 13.0 cm
本体重量		約 950 g
コード長さ		約 1.8 m
タンク注水量		200 ml
PTFEかけ面		●
ワンタッチスプレー（霧吹き）		●
ジェットスチーム		●
バーチカルスチーム		●
セルフクリーン機能		●
水あか防止バルブ		●

※仕様、デザイン、価格は変更になることがありますのでご了承ください。

Made in China

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミューズビル
修理センター：〒144-0042 東京都大田区羽田旭町11-1 羽田クロノゲート7階 YMM内

お客様相談センター	部品注文センター 修理センター
0570-077772	0570-086072

ナビダイヤル® 受付時間:9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤル® 受付時間:9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。　※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。